

デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について

地方創生の推進にあたっては、一部の事業について内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して取り組んでおり、その概要は以下のとおりです。

1 交付金の状況について

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業

（単位：円、件）

年度	交付金実績額	事業数
令和4年度採択分	116,593,611	3
令和5年度採択分	71,863,688	6
令和6年度採択分	130,641,758	3
合計	319,099,057	12

2 デジタル田園都市国家構想交付金事業の主な効果

（1）消費拡大と気候変動に対応したみえの農林水産推進事業 【事業番号2】

伊勢茶の消費拡大を促し、茶生産者の所得向上を図るため、魅力発信や新たな需要の創出につながる商品や体験等のサービスの開発・試作に係る費用の補助等を実施した結果、伊勢茶新商品開発数及び多様なシーンでの伊勢茶の活用数が目標の6件を上回る8件でした。

（2）地域一体型スタートアップ支援事業 【事業番号7】

革新的な技術・サービス等を活用して新事業展開をめざす国内スタートアップと県内企業のマッチングを行い、事業共創による新たな事業展開を促進した結果、三重県における新規事業創出数が目標の6件を上回る7件でした。

（3）戦略的なプロモーションによる三重の魅力発信 【事業番号10】

観光、食、県産工芸品や移住など、あらゆる場面において「選ばれる三重・多くの人々をひきつける三重」の実現をめざして、「美し国みえ」を統一キ

ヤッチフレーズとして、「三重県」全体の認知度を高める効果的なプロモーションに取り組んだ結果、首都圏・関西圏における観光旅行先としての三重県への訪問意向および三重県産品の購入意向の割合が目標の2.4%を上回る3.9%の増加でした。

3 デジタル田園都市国家構想交付金事業の主な課題

(1) 県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業 【事業番号4】

南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値の目標を1.87%としたところ、働く場が少ないこと、南部地域で暮らすこと・働くことの魅力が十分に若者に伝わっていないこと等をばじめとした様々な要因により、若者の定住率の減少に歯止めがかからなかったことから、改善値は0.2%にとどまりました。なお、本事業によって、南部地域に興味を持つ人は着実に増えており、関係人口の創出は着実に進んでいることから、引き続き、地域の担い手の横の連携強化やその取組が継続できる仕組みづくりを進めるとともに、若者が実際に地域を訪れる機会を提供しながら、南部地域の魅力を伝え、若者に継続的に地域に興味を持ってもらえるよう取組を進めます。

(2) プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 【事業番号8】

県内の中小企業・小規模企業に対し、「攻めの経営」や経営改善の実践をサポートするため、デジタル人材を中心とする都市部の大企業に在籍する副業・兼業人材の活用促進に向けて、人材紹介手数料等、人材活用・確保に係る経費の一部補助等を実施したものの、県内企業において副業・兼業人材の活用についての周知が不足していたことなどから、デジタル人材等の副業・兼業人材の活用に関するマッチング（成約）件数が目標の40件を下回る10件の実績となりました。令和7年度においては、補助金の上限額や対象経費の拡充を実施するとともに、企業向けセミナーの開催等を行い、県内企業における副業・兼業人材活用の促進に努めます。

4 今後の取組方向について

県議会や三重県地方創生検証会議等での効果検証の結果をふまえ、今後の新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧 デジタル田園都市国家構想交付金）事業の実施に生かしていきます。

【参考】

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業
KPI（重要業績評価指標）の達成状況一覧

（単位：円、件）

年度	交付金実績額	KPI 設定数	KPI 達成数	KPI 未達成数	KPI 未確定数
令和4年度採択分	116,593,611	12	6	3	3
令和5年度採択分	71,863,688	22	11	9	2
令和6年度採択分	130,641,758	12	3	6	3
合計	319,099,057	46	20	18	8